

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 16 日 (2020.1.16)

【公開番号】特開 2019-202010 (P2019-202010A)

【公開日】令和 1 年 11 月 28 日 (2019.11.28)

【年通号数】公開・登録公報 2019-048

【出願番号】特願 2018-100111 (P2018-100111)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 22 日 (2019.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技価値を付与可能な付与手段を備える遊技機であって、  
遊技機における遊技の進行を制御する遊技制御手段と、  
設定値に応じた特定制御を実行可能な特定制御手段と、  
設定値を変更可能な設定変更モードに制御可能な設定変更モード制御手段と、  
当該遊技機に対応した遊技機枠及び扉枠の少なくとも一方が開放された開放状態を検出可能な開放状態検出手段と、  
遊技媒体が特定領域を通過したときに所定の大きさの遊技価値を付与するための特定処理を実行可能な特定処理手段と、  
前記特定処理に基づく遊技価値の付与が完了する前に電断が発生した場合に、付与が完了していない遊技価値の大きさを記憶する記憶手段と、を備え、  
前記設定変更モードに制御されている場合と前記設定変更モードに制御されていない場合とで、前記開放状態が検出されたときに、遊技価値の付与が制限され、  
前記設定変更モードに制御されている場合に、遊技媒体が前記特定領域を通過したときに前記特定処理を実行せず、  
当該遊技機への電力供給が開始された場合に、  
前記開放状態が検出されているときに前記設定変更モードに制御可能であり、  
前記記憶手段に記憶されている遊技価値の大きさに基づいて遊技価値を付与可能であり、  
前記付与手段は、前記遊技制御手段から特別信号が入力されたときに遊技媒体の付与が可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(A) 本願発明に係る遊技機は、

遊技価値を付与可能な付与手段を備える遊技機であって、

前記遊技機における遊技の進行を制御する遊技制御手段（遊技制御用タイマ割込処理を実行する遊技制御用マイクロコンピュータ１００）と、

遊技価値（パチンコ玉）を付与可能な付与手段（払出モータ２１ＴＭ２８９を制御する払出制御用マイクロコンピュータ２１ＴＭ３７０）を備える遊技機（パチンコ遊技機１）であって、

設定値（大当たり判定用乱数の範囲が異なる設定値１～６）に応じた特定制御（特別図柄プロセス処理における大当たり判定処理等）を実行可能な特定制御手段（ステップＳ２１ＴＭ１６９０等の処理を実行する遊技制御用マイクロコンピュータ１００）と、

設定値を変更可能な設定変更モードに制御可能な設定変更モード制御手段（ステップＳ２１ＴＭ３５４０～ステップＳ２１ＴＭ３６００を実行可能な遊技制御用マイクロコンピュータ１００）と、

当該遊技機に対応した遊技機枠（遊技機用枠３）及び扉枠（ガラス扉枠３ａ）の少なくとも一方（例えば、遊技機用枠３）が開放された開放状態を検出可能な開放状態検出手段（遊技機用枠３が開放状態となっていることを検出可能な遊技機枠開放センサ、ガラス扉枠３ａが開放状態となっていることを検出可能な扉枠開放センサ、を備えた遊技機枠・扉枠開放センサ２１ＴＭ３００を有する払出制御用マイクロコンピュータ２１ＴＭ３７０）と、

遊技媒体が特定領域を通過したときに所定の大きさの遊技価値を付与するための特定処理を実行可能な特定処理手段と、

前記特定処理に基づく遊技価値の付与が完了する前に電断が発生した場合に、付与が完了していない遊技価値の大きさを記憶する記憶手段と、を備え、

前記設定変更モードに制御されている場合と前記設定変更モードに制御されていない場合とで、前記開放状態が検出されたときに、遊技価値の付与が制限され（遊技機用枠３が開放状態となっているとき、ガラス扉枠３ａが開放状態となっているときには、払出制御用マイクロコンピュータ２１ＴＭ３７０が、払出モータ２１ＴＭ２８９を駆動しないことにより、球貸処理及び賞球処理における遊技媒体の払出を実行しない）、

前記設定変更モードに制御されている場合に、遊技媒体が前記特定領域を通過したときに前記特定処理を実行せず、

当該遊技機への電力供給が開始された場合に、

前記開放状態が検出されているときに前記設定変更モードに制御可能であり、

前記記憶手段に記憶されている遊技価値の大きさに基づいて遊技価値を付与可能であり、

前記付与手段（払出制御用マイクロコンピュータ２１ＴＭ３７０）は、前記遊技制御手段から特別信号（接続確認信号）が入力されたときに遊技媒体の付与が可能である、

ことを特徴とする。

このような構成によれば、設定変更モードに制御されているときに、遊技価値の付与に関して適切な制御を実行することができる。

（１）他の態様に係る遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機１）であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出（例えばリーチ演出）を実行可能な示唆演出実行手段（例えば演出制御用ＣＰＵ１２０）と、

前記示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段（例えば演出制御用ＣＰＵ１２０）と、を備え、

前記タイトル報知手段は、前記示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該示唆演出に対応したタイトルを報知可能である（例えば図８－２（Ｄ）、（Ｆ））。

このような構成によれば、演出効果を高めることができる。